

城陽市未来まちづくり会議 (55人委員会) 報告書



じょうりんちゃん

平成31年(2019年) 1月

城陽市 企画管理部 秘書広報課

目 次

第1章	城陽未来まちづくり会議の実施概要.....	1
第2章	会議全体の流れ.....	3
第3章	文化パーク城陽の活性化に向けたアイデア.....	4
第4章	プロジェクトづくり.....	9
第5章	各班のプロジェクト.....	10
第6章	まとめ	22
第7章	城陽未来まちづくり会議 資料編.....	25

城陽未来まちづくり会議の実施概要

1 会議開催の目的と位置づけ

城陽市では、これまで行政に声を届ける機会が少なかった市民の方に、市政への参加を促し、その意見を取り入れること、またそのことを通じて市民意識の高揚を図り、市民活動の担い手の掘り起こしにつなげることを目的に平成 26 年度から「城陽未来まちづくり会議」を開催しています。

このため、会議での意見については、諮問に対する答申や提言といったものでなく、「幅広い市民の声」として位置づけられるものとなります。

2 参加者の決定

(1) 参加希望者の選定

住民基本台帳から市民 1,800 人を無作為に抽出し、城陽未来まちづくり会議への参加依頼を送付しました。あわせて会議についてのアンケート調査を実施しました。

(2) 参加募集の人数

 **55 人**

城陽市が京都と奈良のほぼ中間に位置し、古くから「こりこり五里五里の里」と呼ばれることにちなみ、55 人としました。

(3) 参加希望者の決定

参加依頼の結果、62 人から参加承諾をいただき、抽選により会議に参加していただく 55 人を決定しました。

(4) 抽選方法

年齢や地域性を考慮し、Microsoft Excel のランダム関数を用いて抽選を行いました。

(5) 参加者の属性

今年度の参加者の属性は下表のとおりです。

	久津川地区		寺田地区		富野地区		青谷地区		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
10-20 歳代	1	3	0	5	4	3	0	0	16
30 歳代	2	2	4	2	1	1	0	0	12
40 歳代	1	0	2	0	3	0	0	0	6
50 歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60 歳代	1	1	1	3	2	0	0	0	8
70 歳代以上	1	2	4	2	2	1	0	1	13
男女別計	6	8	11	12	12	5	0	1	55
総計	14		23		17		1		55

3 城陽未来まちづくり会議の概要

会議の概要を以下に整理しました。

テ ー マ：「文化パーク城陽の活性化」

開 催 日：平成 30 年 9 月 8 日（土）10：00～16：00

開催場所：文化パーク城陽 東館 4 階 大会議室

会議形式：参加者 55 人を 7 つのグループに分けた班ごとの意見交換

会議内容：班ごとのアイデア出し、意見交換、意見の集約、企画立案、発表

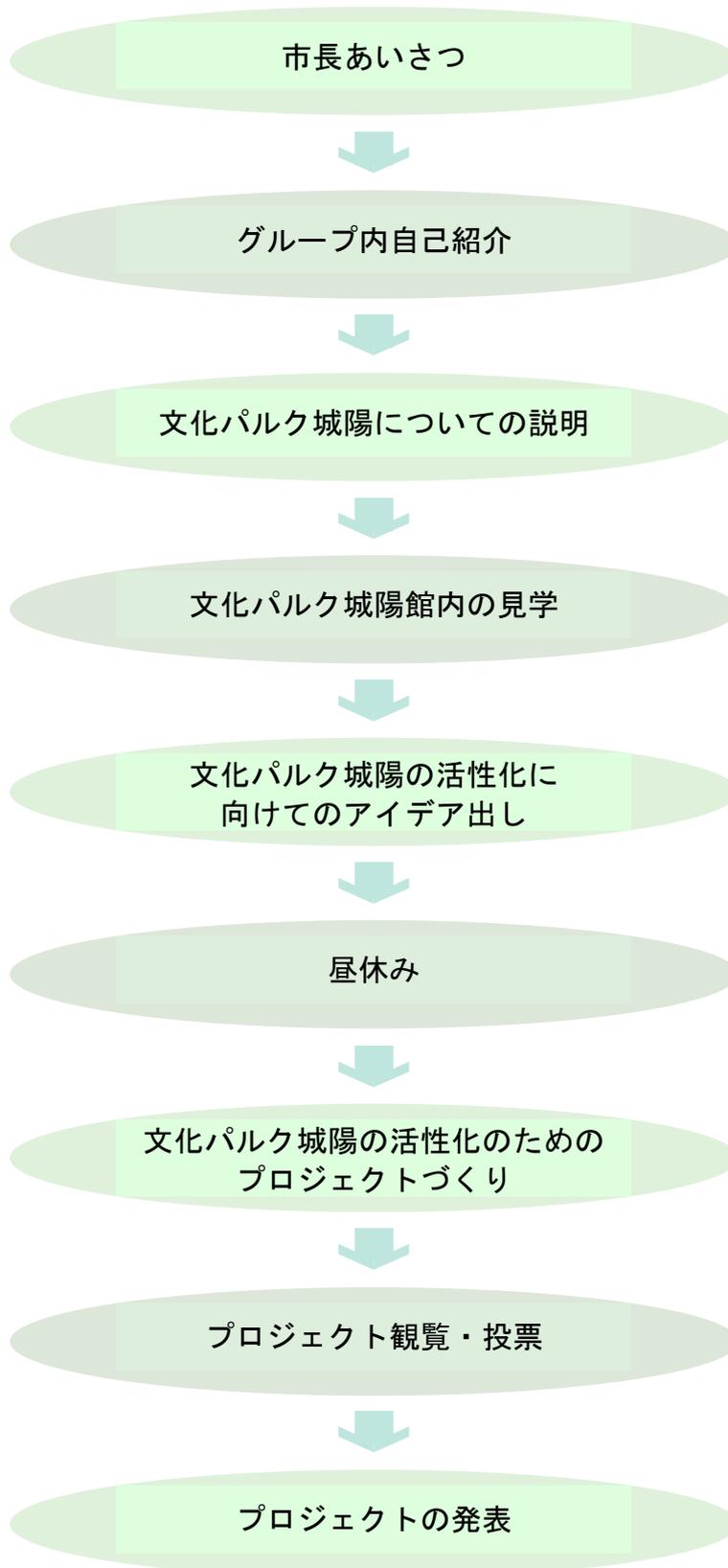
4 会議における意見のまとめ

会議の前半は、文化パーク城陽を実際に見学し、文化パーク城陽を活性化していくためのアイデアを幅広く出すことを目指しました。

後半は、それらのアイデアを掛け合わせることによって、新しい視点や自由な発想の企画を数多くいただくことができました。今回の会議でいただいたご意見に基づき、城陽市として取り組むべきものについては、既に実施している施策との整合性を図り、施策への反映について検討することとします。

第 2 章

会議全体の流れ



第 3 章

文化パーク城陽の活性化に向けたアイデア

文化パーク城陽の活性化に向け、各班で館内を見学し、その後、アイデアを自由に出していただきました。いただいたアイデアをジャンルごとに分類して紹介します。（原則いただいたアイデアのまま掲載していますが、表記誤りなど一部修正しています）

（１）施設の有効活用について

- 1Fの広いところをもったいないため、ショップの充実、コンビニ・道の駅（旅プラザ）等の有効活用を検討する
- 集客のためウォールアートをする
- 水上ステージを活用し、立ち入りやすい雰囲気にする
- 外のガーデンを幼児が遊べる安全な庭に整備する
- 市民プラザを常時使えるようにしていく（日程を決めて、定期的の実施）
- 歴史民俗資料館の企画を増やす
- プラネタリウム、展示室等の利用に際して、市民が利用しやすい使用料にしたり、観測スペースの活用を検討する
- 壁が余っているので、広告収入を得て利用料を安くする
- 災害対策として、避難、備蓄できる場所を確保する
- コピーのできる場所を確保する
- スロープの壁の掲示板を活用しての間違探し、市内企業の紹介、城陽 365 日として5月1日市政施行などについて、館内ウォークラリーを行うことや、リハビリの場など、有効活用をしていく
- 土、日、祝日に駐車場、広場を利用した文化パーク道の駅を開催する
- 資格講座会場として各教育機関に利用していただく



(2) 施設の整備について

- 東西がつながっておらず、何階に何があるか分かりにくいいため、分かりやすく整備する
- 農産物直売所を設置して、道の駅の整備をしたり、バーベキュー場（食べ物はすべて準備してくれるなど）を設置する
- スーパー銭湯などの温泉施設や映画館など複合施設、特に外国の方に対する宿泊施設を設置する
- 天体観測スペースやテーマパークを整備するほか、プラムホールを残し、他は市役所を移転する
- まちづくりの専門家の方に委託し、明るくきれいなイメージにする
- スロープの手すりを丸くし、もう少しゆるやかにするほか、トイレの改善などを行い、開館当時の頃のようにすっきりとした感じに整備する
- プラムホールの大きさが中途半端なため、可動式の仕切りの活用をしていく
- 外構の整備として、立木の整理、地面の整理、池を花畑などに変更を行う
- 維持管理によって施設の寿命を伸ばすために、カーペットのシミやソファの整備など、施設管理の強化を図る
- 1階のエントランスにプラネタリウム前にあるはめ込み撮影パネルを移動させ、その他1階ですべての情報を知ることができるようにする
- それぞれの施設の場所がわかりにくいので、案内ロボ等を設置する
- 北側の池の斜面の草を刈って、保護者が腰を下ろして子どもを見守れるように管理する

(3) 図書館の利用について

- 図書館の利用が10年で66%になっているため、図書館の景色の良い場所に民間に委託して軽食喫茶を設ける
- 夜の図書館利用やマンガ図書館の設置を検討する
- 図書館の返却方法を便利にできないか検討する
- 図書館をもっとオープンにするとともに、本の配置を改善する
- 大人向け、学生向けの自習室を整備する



(4) レストラン・売店について

- ・フードコートの設置、レストラン・売店の拡大を図り、喫茶店外でも座ってコーヒーが飲めるようにする
- ・会員制のカフェをつくり、みんなが集まれるようにする
- ・昔あったような、おいしいディナーを食べられるレストランやビアガーデンを設置する
- ・食事処や喫茶店をおしゃれなカフェにする
- ・食堂、喫茶の時間を延長して、夜も営業する
- ・売店を充実（喫茶店に拡張）するとともに、城陽市の特産物を販売するスペースを作る
- ・高価格帯で落ち着いた店、中価格帯でおしゃべりできる店を設置する

(5) イベント・交流関連について

- ・四季のイベントとして、春は花見、夏は花火大会、夏祭りを実施したり、イベントの充実と実施回数を増やす
- ・プラムホールへ芸能関係者やライブの実施により人を呼ぶ
- ・毎日全館、イベントでプロジェクションマッピングを行う
- ・フリーマーケットを月2回開催したり、城陽祭りを年4回実施する
- ・城陽市の文化活動の活性化や婚活支援、救急救命講習などを実施する
- ・クリスマス期間、花火大会の開催に合わせ、異なる年代の人が気軽に交流できる場所を整備する
- ・平日の来客者を増やすために、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校・大学生の各種発表会を開催したり、市民プラザを明るくし、子どもの遊び場を広げる



(6) 運動・スポーツについて

- ・会員制トレーニングジムやプール、ランニングマシーンの設置、体育館の整備を図る
- ・城陽市主催の学生向けのスポーツ大会を実施する
- ・スケートパークやウォーキングコース、フットサルのできる環境を整備する

(7) アクセスについて

- 交通事情が悪いため、前の道路をバイパスにつないで便利にする
- 高齢者のアクセスが問題となっているため、ウィークデーの利用者が文パルにま
ず、来てもらいやすくするための交通手段を確保する
- 寺田駅に急行が停車する、市内だけ走るバス会社をつくるなどの整備により、市
外からのアクセスを充実させる
- 文パル前の踏切を広げ、駐車場を増やすとともに、無料化する
- 寺田駅から傘なしでアクセスできるようにする

(8) 環境整備について

- 農地に住宅建設を許可するなど、住みたくなる住み続けたくなるまちづくりを検
討する
- 寺田駅の近くにホールを移転する
- 近隣の協力を得て外（ホール）で球技が出来る場所を確保する
- 城陽散策コースで歴史民俗資料館の位置付けを検討する

(9) ライフステージに応じた対応について

- 市民（市外）の人の利用を活性化するためにライフステージに応じ、平日・休日
プラムホールの有効利用を検討するなど、利用者のターゲットを絞る

① 子ども・学生向け

- プレイルームを土曜・日曜に多く利用できるように増設するほか、保育士を配置
するなど、子育て支援の場所を確保する
- 映画上映を行う
- 小、中学校とのコラボした防災訓練などの活動や子どもを見守れるような管理を
行う
- 小学校で、おとまり学習の参加募集をして、天体観測をする（昼のうちにプラネ
タリウムで星の解説をする）
- 中・高生が涼みに立ち寄れる空間（机＋イス）の整備や、塾や自主学習室など自
由に使える学習施設を整備する
- 中学～大学生のための遊び場としてスポーツ施設を整備する
- 子どもが安心して遊ぶことのできる場所を今より増やし、雨の時にプレイルーム
で子どもが遊べる施設、特にボール遊びができるようにする

② 若者向け

- ・若い人向けの軽スポーツ施設を整備する
- ・若者によるイベントを開催する

③ 大人向け

- ・茶室以外に興味ある人、特に外国人などに向けたアウトレットモールを整備する
- ・茶室の存在を知らない、利用者が少ないので、和室・着付け教室、美味しいおにぎりの販売など他の事にも使用できるよう検討する
- ・月極貸しオフィスを整備する
- ・おじいさん、おばあさんのためのカラオケルーム的な使用法、カルチャー教室の開催など、高齢者施設の充実を図る
- ・退職世代の青春時代に流行した歌手・バンドをプラムホールに呼ぶ

(10) 大学や企業との連携について

- ・同志社女子大の寮が、すぐ近くにあり、大学生とのコラボを行う
- ・合唱サークルを活用した企画を考える
- ・「文パル」の名前を大きな企業に買ってもらう
- ・企業とコラボして、大型スーパー、スターバックス、コンビニなど行列のできるお店を呼び、人を集める
- ・工場誘致に伴う就労先を確保する
- ・市内の企業に社員研修を開催し、会議は文パル、泊まりはアイリスイン城陽を活用する

(11) 情報発信・広報活動について

- ・市HPと文パルHPとの連携や地元や京都のアーティストなどを利用して情報提供する
- ・SNS、フェイスブック、ツイッターを利用した施設利用に関する広報活動やライン用公式アカウント、アプリ作成やWi-Fiを引くなどIT化を図る
- ・情報を市民に提供する方法を増やすために、ポスターを分かりやすく貼る
- ・施設の使用料金を明確に表示する
- ・インスタグラムを活用する
- ・分かりやすい施設予約のオンライン化を進める
- ・城陽や寺田などの駅でPRする
- ・道の駅での集客や碾茶・梅・いも等、日本一の地元の特産品をアピールするとともに、プラムホールの営業促進を行い、収入増を図る

第4章

プロジェクトづくり

1 プロジェクトの作成にあたって

出されたアイデアを、各班で共有し、これらのアイデアを活かした、コンセプト（こんな「文パル」にしたい）を考えていただきました。

また、考えたコンセプトを具体的に実施していくために、プロジェクト名やターゲット、具体的な内容を班で話し合い、プロジェクトを作成していただきました。

2 プロジェクト作成用紙の構成

こんな「文パル」がいいプロジェクト		
_____ 班 _____ グループ		
コンセプト (こんな「文パル」にしたい)		出てきたアイデアを活かし、活性化している「文パル」を考えてみてください。
プロジェクト名		みんなの目を引くプロジェクト名を作ってください。
ターゲット		ターゲットを決めると、イメージしやすくなります。
参考にするアイデア		参考にしたアイデアは何ですか？
概要	いつ どこで どのように だれが	来館者が楽しんでいるところをイメージしながら、プロジェクト内容の概要を考えてみてください。 今回のプロジェクトには、不可能はありません。いろんなことをイメージしてください。
イチ押しポイント (このプロジェクトのここがすごい)		最後に、このプロジェクトのイチ押しポイントを書いて、皆さんにPRしてください。

第5章

各班のプロジェクト

1班

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	城陽ドリームランド
プロジェクト名	城陽大作戦（情報大作戦）
ターゲット	市民～世界全員
参考にするアイデア	◎クラウドファンディングで資金調達し、市民、大学生、外国人などすべての人々がおぼけになり、世界で一番怖い「おぼけやしき」を作る。
概要	<p>いつ</p> <p>どこで</p> <p>どのように</p> <p>日本の伝統文化と新しい文化 or 世界の文化を組み合わせただけ全く新しいもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シューティングゲーム。 ・おぼけやしき（世界で一番怖い） <p>→クラウドファンディングで資金調達＋SNS発信→海外からも集客する</p> <p>だれが</p> <p>市民や大学生など全て。</p>
イチ押しポイント (このプロジェクトのここがすごい)	・大人も子供も全員楽しめる。SNSを使いまくる

概要とポイント

施設全体を世界一怖い「おぼけやしき」として、市民や学生、外国人などさまざまな人が参加できるイベントを開催するプロジェクトです。

- ・クラウドファンディングによる資金調達という面では、市外、府外の多くの人に「文パル」の名を広めることもできると考えられます。
- ・一過性のイベントで終わることのないよう、利用者のニーズを把握し、継続性のあるイベントとして開催していくことが望まれます。

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	週に一回必ず文パルへ
プロジェクト名	文パルカフェ
ターゲット	市民全体
参考にするアイデア	図書館の中で喫茶 おいしいおにぎり 喫茶店外でのコーヒー
概要	<p>いつ</p> <p>年間を通して</p> <p>どこで</p> <p>ラセン階段、図書館の中で</p> <p>どのように</p> <p>本を借りて、喫茶店でコーヒーを買って読む（受験勉強もOK）（ホール以外）（館内に机とイスを用意）</p> <p>だれが</p> <p>市民全員</p>
イチ押しポイント (このプロジェクトのここがすごい)	ラセン階段で外の景色を眺めながら、憩いのひとときを

概要とポイント

スロープから見える景色も活用しながら文パルをひとつのカフェとして、活用していくプロジェクトです。

- ・館内のどこでも、図書館の本を読みながら、コーヒーを楽しむことのできる図書館とカフェの融合施設となり、若者の利用も増えると考えられます。
- ・有名なカフェなどの店舗の誘致を行っていくなど、さらなる集客が望まれます。

2 班

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	城陽の情報発信拠点文パル
プロジェクト名	城陽から世界へ
ターゲット	オール城陽市民
参考にするアイデア	チラシとSNS
概要	<p>いつ 【チラシ】 週1回 【SNS】 随時</p> <p>どこで 【チラシ】 駅前、学校 【SNS】 SNS上</p> <p>どのように 【チラシ】 シンプルで分かりやすく、その分類度を上げる。無料クーポン 【SNS】 写真を上げて、イネしてもらえたら割引</p> <p>だれが 【チラシ】 特には市民や子どもなどに作ってもらう。 【SNS】 子どもが作った市民新聞をアップ。有名なブロガーにイネしてもら</p>
イチ押しポイント (このプロジェクトのここがすごい)	<ul style="list-style-type: none"> • SNSで全世界に城陽が知れ渡る • かつ地元民にも愛される文パルを目指してチラシを作成

概要とポイント

SNSを活用した、世界に「文パル」を発信していくためのプロジェクトとなっています。世界中に「文パル」を知ってもらい、来館してもらうための第一歩となるプロジェクトです。

- 民間企業に協力をいただき、無料クーポンをつけたチラシを作成するとともに、文パルだけでなく、城陽市の情報冊子として発行していくことにより、「文パル」の認知度とともに、城陽市の地域の活性化にもつながっていくと考えられます。

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	365日24時間文パル
プロジェクト名	24時間戦えます
ターゲット	市民 • 朝は高齢者 • 昼は子ども、ママ友 • 夕方は学生 • 夜、仕事帰りの人・週末はファミリー
参考にするアイデア	
概要	<p>いつ 毎日</p> <p>どこで • 宿泊施設とジムの附設 • 軽スポーツする場所 • プラネタリウムで風寝</p> <p>どのように • 自習室の開放 • 図書館の夜間利用 • コンビニ設置 • 夜にはバー、ライブ • 図書館の本の充実（マンガも）</p> <p>だれが</p>
イチ押しポイント (このプロジェクトのここがすごい)	いつ来ても誰もが楽しめる

概要とポイント

多くの人に利用をしていただくため、24時間開放された施設として、「いつ来ても誰もが楽しめる」ためのプロジェクトとなっています。

- コンビニや宿泊施設、ジム、バーやライブハウスの設置などのアイデアとなっており、民間企業の活力を取り入れることによって、様々な人の利用が見込まれます。利用者のニーズをしっかりと把握し、魅力ある施設になっていくと考えられます。

3 班

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	市民が毎日来たくなる文パル
プロジェクト名	エブリデイエブリタイムプロジェクト
ターゲット	成人した市民
参考にするアイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間が集まって活動 ・高齢者サークル ・作品の展示や売買も
概要	<p>いつ 平日</p> <p>どこで 今の展示室や会議室、使いやすくかえる</p> <p>どのように 趣味が同じ人たちが集まれるようにする ・先生や講師は呼ばずただ仲間が集まる</p> <p>だれが 共有できる人たち ・家にこもっている人たちを外に出す</p>
イチ押しポイント (このプロジェクトのここがすごい)	<ul style="list-style-type: none"> ★家にこもっている人たちが外に出る！ ★ボケ防止にもなる ・高齢者だけでなくだれでも来られる・生きがいができる！ ・だれでも行きやすくなっている！

概要とポイント

多くの市民が集まれ楽しみ、生きがいを持つことができる場所を創造していく内容となっています。高齢者の閉じこもりやボケ防止にもつながるプロジェクトとなっています。

- ・市民が何をしたいのかニーズをしっかりと捉え、ライフステージに合わせた、イベントや講演会等を実施することで、多くの市民が集まることができると考えられます。同じ生きがいを持つ人が多く集まることにより、さらに人と人のつながりも深まると考えられます。

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	スロープと景色を生かしたカフェのある文パル
プロジェクト名	スロープカフェ プロジェクト
ターゲット	ゆっくりしたい人たち（地域の人たち）
参考にするアイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラスごしの景色を生かす ・電車をみながらカフェ
概要	<p>いつ</p> <p>どこで スロープ沿い</p> <p>どのように ・スロープ沿いを改造してカフェスペースをつくる ・外を向いて座れるようにする</p> <p>だれが ゆっくりしたい人たちが交流する</p>
イチ押しポイント (このプロジェクトのここがすごい)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の交流の場になる ・景色が良い

概要とポイント

施設から見える良好な景観を生かし、カフェを設置するプロジェクトとなっています。

- ・カフェだけでなく、良好な景観を生かした様々な仕掛けをしていくことにより、スペースの有効活用とともに、地域住民との交流の場ともなります。
- ・施設内の様々なスペースを生かしていくことにより、多くの人が来たくなる、利用したくなるスペースとなると考えられます。

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	みんなが行きやすい文パル
プロジェクト名	城陽・文パル駅 新設プロジェクト
ターゲット	現在文パルまで来るのが不便な人
参考にするアイデア	<ul style="list-style-type: none"> 文パル前に駅をつくる シャトルバスを走らせる 駅から文パルまで屋根を！(動く歩道)全天候型に
概要	<ul style="list-style-type: none"> 新駅作成 城陽・文パル駅(バスと電車) 文パルまでの誘導歩道(全天候型)をつくる シャトルバスを走らせる(駅から離れた市内の人用) 新しい市内バスの会社を作る(引退した人を雇用するなど)
イチ押しポイント (このプロジェクトの ここがすごい)	<ul style="list-style-type: none"> 文パルまで駅から徒歩3分直結！！ 自家用車なくてもOK！！ 新しく雇用ができる 足が不自由な人も大丈夫！！

概要とポイント

施設の立地により、車でないと来館できない人が多いという意見がある中で、「城陽・文パル駅」を新設し、文パルを誰でも来やすい施設とするためのプロジェクトとなっています。

- ただ駅を新設するだけでなく、駅から施設までの道のりでも、文パルを楽しむことのできる仕掛けを考えるなど、来やすく、楽しい施設にしていくことで、多くの人に来てみたい施設となると考えられます。

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	有名人も使いたくなる文パル
プロジェクト名	有名人いっちゃい♪プロジェクト
ターゲット	市外の人々
参考にするアイデア	<ul style="list-style-type: none"> 音響の良さをアピール イベントを増やす
概要	<p>いつ</p> <p>【平日】昼：高齢者、親子 夜：仕事、学校帰りの人 【休日】全ての人</p> <p>どこで</p> <p>プラムホール</p> <p>どのように</p> <ul style="list-style-type: none"> アーティスト(有名な)を呼ぶ(音響の良さを売る) ソファの良さもアピール SNSで宣伝 <p>だれが</p> <p>となりにホテル(大浴場付)をつくる。</p>
イチ押しポイント (このプロジェクトの ここがすごい)	<ul style="list-style-type: none"> 有名人に会える(わりかし近い!!)穴場(笑) 音響が良い ソファがきもちいい

概要とポイント

施設内にある優れたホールや設備を有効活用し、有名人が文パルでイベントをしたいと思ってもらおうプロジェクトとなっています。

- 有名人に文パルの良さをPRし、多くのイベントを開催することで、「文パルにすれば、有名人に会える」を目指した施設となり、市内外から多くの来館者が来ます。
- 様々な情報媒体(SNS等)を活用し、文パルの良さをいかに発信していくかを考えていくことで、実現可能なものとなると考えられます。

コンセプト (こんな「文庫」にしたい)	城陽にしかない、寝ながらみられる映画館のある文庫
プロジェクト名	スリーピングシアタープロジェクト
ターゲット	市外の人々
参考にするアイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウムでみられるようにする。 ・プロジェクションマッピングで放映する。 ・マニアックな映画も放映する
概要	<p>いつ</p> <p>平日 午前：親子、高齢者 午後：高齢者、親子 夜：仕事、学校帰りの人向け 休日 ファミリー向け</p> <p>どこで</p> <p>プラネタリウム</p> <p>どのように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクションマッピング ・映画上映 ・学生等が作成した映像も放映する ・3D、4D映像をながす ・トイレの改修 <p>だれが</p>
イチ押しポイント (このプロジェクトの ここがすごい)	<ul style="list-style-type: none"> ・会場がプラネタリウムなのですがたおれる！ ・いすが動く・風が吹く（アトラクション感覚） ・涼める♪ ・球面に映像をうつし出す“新感覚”



概要とポイント

周辺にはないプラネタリウムを活用。プラネタリウムの形状や倒せる椅子を活かした、プロジェクションマッピングやアトラクション感覚の体験型のイベントを催していくプロジェクトとなっています。

- ・他施設のプラネタリウムでは、様々なイベントを開催し、成功している例もあります。利用者が求めているニーズを把握し、プラネタリウムで楽しめるイベントを行うとともに、情報発信を行うことで、多くの集客が見込まれると考えられます。

4 班

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	みんなが来たい魅力的な文パルに！
プロジェクト名	防災意識の高い城陽市
ターゲット	城陽市民
参考にするアイデア	
概要	<p>いつ</p> <p>どこで</p> <p>どのように</p> <p>【普段からできること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料館的な所に防災センターをつくる ・救命講習・被災体験・消防の人たちに教えてもらう <p>【災害時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所、防災拠点に・備蓄。 <p>だれが</p>
イチ押しポイント (このプロジェクトのここがすごい)	市内の小中学生が授業でできるようにする。

概要とポイント

現在、様々な災害が起きている中で、救命講習の開催や被災体験などができるプロジェクトとなっています。

- ・市民が集まれる一つの施設として、防災訓練や被災体験を実施することで、防災意識が高まるとともに、市外の方も利用できる防災施設とすることで、市外からの来館者も増えていくことが考えられます。

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	みんなが来たい魅力的な文パルに！
プロジェクト名	アプリでつながろう
ターゲット	城陽市民
参考にするアイデア	何をすることも広報が大事！知らないから来ない
概要	<p>絶対条件：・市全体でWiFiをとばす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント情報を知れる、自分の興味のある情報だけを手でできる。 ・施設の空き情報を知れる。 ・予約のために1回来なくてもいい。アプリの講習会も文パルでできる（高齢者の方）。
イチ押しポイント (このプロジェクトのここがすごい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごりごりくんのLINEスタンプ→売上げになる ・大学と連携してつくってもら ・誰でも使える ・企業参入につながる。“防災にもつながるよ”

概要とポイント

文パルの魅力を発信するため、「文パル」のアプリを作成していくプロジェクトとなっています。

- ・アプリの作成や SNS の活用をより一層行っていくことで、文パルを市外、府外に発信し、魅力を提供することができ、市外からの来館も期待ができます。
- ・また、アプリ等を市ホームページのトップページに掲載するとともに、地域情報誌等に掲載し、多くの方に認知してもらいます。

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	みんなが来たい魅力的な文パルに！
プロジェクト名	企業参入パートⅠ
ターゲット	城陽市民、市外の人
参考にするアイデア	イオン
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ ・スタバ（図書室とコラボ） ☆福利厚生の拠点（事務）を文パルに置く！（IC付近の企業も）
イチ押しポイント (このプロジェクトのここがすごい)	オープンな図書室、静かに読む所、コーヒー可、分ける

概要とポイント

文パル全体を図書館にするとともに、コンビニや喫茶店などとコラボレーションし、図書館を活性化していくプロジェクトとなっています。

- ・図書館の図書を持ち出し可能として、椅子などを設置することで、館内のどこでも読書することのできる施設となります。
- ・館内での飲食を可能とし、文パル全体を図書館とカフェの融合施設とすることで、館内で一日を過ごせるようになると考えられます。

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	みんなが来たい魅力的な文パルに！
プロジェクト名	企業参入パートⅡ
ターゲット	城陽市民、市外の人
参考にするアイデア	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃ屋さん：子どもが遊べるスペースにおもちゃを提供してもらう。それを買う店舗 ・スポーツ用品店：ホールを対象教室・ランニングコース。 ・先ほどのアプリに広告、クーポンを入れる。
イチ押しポイント (このプロジェクトのここがすごい)	☆雇用が増える☆大学と連携

概要とポイント

文パルで運動、スポーツをすることのできる施設、また子どもが楽しく遊べる施設を設置し、そこに関連する民間企業を誘致するプロジェクトとなっています。

- ・ライフステージに合わせた施設や環境を整備していくことで、多くの市民などに利用してもらうことができると考えられます。
- ・また、先ほどのアプリを活用し、文パルで何ができるのか気軽に情報を入手できるようにすると、さらなる集客が見込まれます。

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	みんなが来たい魅力的な文パルに！
プロジェクト名	みんなの居場所計画
ターゲット	城陽市民
参考にするアイデア	エントランス以外暗い！！ごちゃごちゃしている！！
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・広告をスッキリさせる ・全体的にオープンにする ・デザインを統一する ・LEDライトで明るく ・接客レベルの向上→まだ行きたくない ・婚活を企画
イチ押しポイント (このプロジェクトの ここがすごい)	きれいに使おうという意識が高まる。単純にキレイなら行きたい



概要とポイント

文パルを、さらに魅力的できれいな空間にして、多くの人に来館してもらうプロジェクトとなっています。

- ・施設がきれいな空間であれば、それだけで来たいと思う人も多くいます。来てもらえれば、文パルの良さや魅力もわかってもらうことができます。
- ・活性化には、イベントや活動内容も重要ですが、見た目も重要です。



5 班

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	ときめきを見つけよう 文パル
プロジェクト名	あなたの人生に文パルを ～出会いから互いのしわを数えあえるまで～
ターゲット	18 歳以上（社会人）
参考にするアイデア	婚活パーティーを開く。プラネタリウム、茶室を使ってもらって出会いの場をもうける。天体観測をする。まちコンのような。若い人が時間がない中でも行きたいと思える魅力。
概要	<p>いつ 年中（定期）</p> <p>どこで プラネタリウム、音楽ホール、茶室、喫茶店（デートできる）</p> <p>どのように テーマにあわせて連携してムードを高める。音楽好きはスタジオでセッションする</p> <p>だれが 2人が</p>
イチ押しポイント (このプロジェクトの ここがすごい)	カップルが成立して結婚したら、式場として安く文パルを使える！！新婚旅行はディズニーランドに行ける！！夫婦で100歳になっても来てもらう

概要とポイント

文パルには、プラネタリウムやプラムホールなど、デートにはもってこいの施設があります。それらの施設を利用したプロジェクトとなっています。

- 文パルで「出会い」を求めることのできるような魅力的なイベントを継続的に開催するため、民間のブライダル業者とのコラボレーションを考えていくことによって、さらなる集客につながると考えられます。

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	ときめきを見つけよう 文パル
プロジェクト名	トレジャー アイランド～心に残る思い出を～
ターゲット	子どもを中心に、幅広い年齢層
参考にするアイデア	<ul style="list-style-type: none"> 若い人（学生）のボランティアの確保 ボランティア募集の広報。知らない所も多くあった。 文パルの中身をもっと知ってもらえる様に広報紙でも案内を！もっとかんたんに。 集客 無料イベント、先着何名様。文パル全体を歩き回る謎解きイベント。
概要	<p>いつ 土日など子どもの休日に定期的な開催。長期休業中は平日も。</p> <p>どこで 文化パルク城陽、全施設開放！</p> <p>どのように スタンプラリー、チェックポイントで謎ときができる。先着何名に景品がもらえる（キャラクターなど）。クリアした人に全部あげる（参加費）。 <ルール>・何歳以下は保護者と一緒</p> <p>だれが 子どもと保護者。ボランティアスタッフ（学生、高齢者）の活用。安全面の確保</p>
イチ押しポイント (このプロジェクトの ここがすごい)	自宅では体験できない、文パルの広大なフィールドでの冒険、ワクワクを体験できる！（1番の宝） 家族や友人との楽しい時間共有。なかなか使用がない場所を知ってもらえる機会になる。

概要とポイント

文パル全体を、広大なフィールドとして捉え、トレジャーアイランドとして活用するプロジェクトとなっています。

- 単体のイベントで終わらせるのではなく、市民がどのようなイベントを行いたいかを聞き取り、他の施設では、体験することのできない企画を行い、継続的に行っていくことで、子どもからお年寄りまで、多くの方がイベントを目当てに来館し、文パルそのものが活性化していくと考えられます。

6 班

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	市民参加・みんなの文パル
プロジェクト名	市民参加型文パル向上作戦
ターゲット	市民・事業所・行政
参考にするアイデア	イベント発案・・・収入増につながる集客、営業。 環境整備・・・花畑、キレイ、木の手入れ。
概要	<p>いつ 毎月</p> <p>どこで 文パル</p> <p>どのように PDCAでチェック。協力体制。みんなで文パルを良くしていく！</p> <p>だれが 学区、行政（決裁権がある人）</p>
イチ押しポイント (このプロジェクトのここがすごい)	市民ひとりひとりの気づき、アイデアが反映される！！

概要とポイント

文パルをどうすれば活性化できるのかを、市民自らが考え、実践していくというプロジェクトとなっています。

- 市民がやってみたいことを実践することは、同じ考えを持った人も参加する可能性が高くなります。
- 開催の準備から携わってもらうことで、市民自らの手で作り上げていくイベントが数多くできていくと考えられます。

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	観光バスが立ち寄る道の駅
プロジェクト名	日本の碾茶 城陽ブランド 発掘・展開
ターゲット	観光客 インバウンド
参考にするアイデア	和束町の道の駅
概要	<p>いつ 良い季節 観光シーズン</p> <p>どこで 梅、茶などを使った体験教室。出来たものは持ち帰り。</p> <p>どのように 京都観光のついでに寄って、城陽の特産物の商品を買ってもらう。</p> <p>だれが 外国人も含めた旅行者</p>
イチ押しポイント (このプロジェクトのここがすごい)	産・官・学連携 城陽の良いところを世界へ！！ ブランドを作り、国内販売、ネット販売進出

概要とポイント

最高品質の城陽の「碾茶」を活用し、世界に城陽を発信していくプロジェクトとなっています。

- 施設からの景観を活かし、施設内で碾茶を楽しめるなど、京都を体感することができる施設として市外の方や外国人など多くの人に来館してもらうことができると考えられます。
- 城陽ブランドを作成し、販売することによって、収益も期待できます。

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	行きたい!集まる!1日まるごと文パル
プロジェクト名	文パルで遊びつくす!! Let's ENJOY そうだ 文パルへ行こう。
ターゲット	10代~
参考にするアイデア	道の駅
概要	<p>いつ</p> <p>1日中</p> <p>どこで</p> <p>☆『図書』地元の特産品(いちぢく、茶、梅、いも)を取り入れた、カフェレストラン(夜まで営業)→ビアガーデン、街コン</p> <p>☆『スポーツ施設』(『ジム』・『フットサル』・『トラボリン』)</p> <p>☆『公園』(すべりだい、ウォーキングコース)</p> <p>☆『託児所』(ママ友の集まりに)</p> <p>☆スーパー銭湯(スポーツ終わりに・・・)</p> <p>『』は無料。</p> <p>どのように</p> <p>だれが</p>
イチ押しポイント (このプロジェクトのここがすごい)	いつ、だれが来ても飽きない



概要とポイント

文パルで一日中楽しむことができる施設づくりのプロジェクトとなっています。

- 図書カフェレストランやスポーツ施設、子どもが楽しく遊べる施設などを設置する内容となっており、子どもからお年寄りまでいつでも、だれでも楽しむことのできる施設となっていきます。
- 市民プラザを子どもが遊べる場とするなど、現在の施設の利用方法を検討していくことで実施することのできるアイデアであると考えられます。

7 班

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	こどもの天国
プロジェクト名	キッズパラダイス
ターゲット	親子
参考にするアイデア	全国各地の遊園地のアイデアを集約
概要	<p>いつ 年中</p> <p>どこで 文パル周辺、駐輪場</p> <p>どのように 地下の子ども専用プール・スケート・ローラースケートなど</p> <p>だれが お孫さんを連れて</p>
イチ押しポイント (このプロジェクトのここがすごい)	<p>◎他の公園で禁止されている遊びが出来る！！</p> <p>◎目玉商品を持ってくる(全国各地の)</p> <p>◎他のテーマパークに行かなくても、文パルでOK、何でもあ る</p>

概要とポイント

文パル全体を子どもが楽しめるテーマパークにするプロジェクトとなっています。

- 子どもが遊びに来れば、その親や祖父母も一緒に来館します。その親や祖父母も楽しめるテーマパークにすることで、さらに集客力が上がることが考えられます。
- 子どもが楽しめる施設は、多くの人々が来館します。親が安心して子どもを遊ばせることのできる施設は施設の活性化にもつながると考えられます。

コンセプト (こんな「文パル」にしたい)	四季折々に輝く綺麗な文化ハルクにしたい
プロジェクト名	光る文化ハルク
ターゲット	全年齢
参考にするアイデア	全国のイルミネーション(神戸、三重など)
概要	<p>いつ 季節ごと、四半期</p> <p>どこで 駅から文パルまで、文パル内も</p> <p>どのように 春夏秋冬で違う姿</p> <p>だれが 市民参加型</p>
イチ押しポイント (このプロジェクトのここがすごい)	<p>春・・・光るコイのぼり一万匹、ひな人形</p> <p>夏・・・七夕(室内で)各幼稚園から笹を</p> <p>秋・・・紅葉と合わせてプロジェクションマッピング</p> <p>冬・・・駅から光のトンネル、クリスマスイルミネーション</p>

概要とポイント

城陽市には、『TWINKLE JOYO』という有名なイルミネーションイベントがあります。それにちなんでイルミネーションを一年中、文パルで行っていくというプロジェクトです。

- 四季折々のイルミネーションを実施することによって、多くの人に年間を通じ、来館してもらえることが考えられます。
- イルミネーションで訪れた人が、館内でも楽しめるようなイベントを同時開催することで、さらなる集客が見込まれます。

第 6 章

まとめ

1 意見結果

文化パーク城陽の活性化のためのプロジェクトづくりでは、7つの班から21のプロジェクトが生まれました。どの案にも、文化パーク城陽を活性化させる上で、多くのヒントが含まれていました。

アイデアやプロジェクトを見ていくと、「若者を呼び込むような提案」や「文パルの既存の存在感やポテンシャルを活かした提案」「イベントなどとのコラボによる集客など付加価値を付けた提案」「民間企業の活力を活かした提案」などが多く出ていました。

今後、文化パーク城陽の活性化を図っていくために、今回出された多くのアイデアやプロジェクトは貴重な意見となるものと考えられます。

2 分析結果

(1) 施設の活用

アイデアやプロジェクトでは、文化パーク城陽の有効活用について多く出ていました。図書館の有効活用のため、館内のどこでも読書ができるようにし、文化パーク城陽全体をカフェとの融合施設とすることや、施設内スロープの活用、市民プラザを子どもの遊び場にするなど、既存施設の活用方法について、これまでになく考え方がありました。また、スポーツ施設など新たな施設についても意見が出ていました。ライフステージやニーズに合った形で使いやすい文化パーク城陽を考えることが活性化に向けて有効なものと考えられます。



(2) 各種イベント等の開催

施設の活用と同じく、多く出ていた意見がイベントの開催についてでした。プラネタリウムという近隣ではあまりない施設を活用したものや、各施設ではなく文化パーク城陽全体を一つのテーマパークやアトラクションとして捉えるものが出ていました。また、プロジェクトでは世界一怖いお化け屋敷など個性的なものも多く、ここでしか体験できないものという考えが見られました。文化パーク城陽らしさや城陽らしさを表現することが活性化につながるものと考えられます。それらを実現するために、企画から市民を巻き込んだ協働型のイベントにすることも有効なものと考えられます。

(3) 民間企業との連携

活性化のためには、施設の整備やイベントの開催だけではなく魅力ある民間企業によるテナントも必要となってきます。プロジェクトでは人気のカフェに来てもらい、文化パーク城陽全体をカフェとしたり、コンビニエンスストアやスポーツジム、バーなどを設置したりするなど様々なテナントのアイデアがありました。テナントに入る企業の知名度だけで来館者が増えるという視点だけではなく、また来たくなる施設となるように考えてテナントを誘致する必要があると考えられます。

(4) 情報発信の強化

良い施設、楽しいイベントがあっても、知ってもらえなければ来館者は増えません。プロジェクトからも、文化パーク城陽のアプリを作成し情報発信を行うや、SNSを活用し文化パーク城陽を世界中に知ってもらおうということが出ていました。また、館内を統一したデザインにすることにより、行ってみたい施設として見せることや情報発信の際の統一したデザインを使用することで文化パーク城陽の発信力強化につながると考えられます。さらに、人気のアーティストに来てもらいやすくし、ライブやコンサートを開催することで文化パーク城陽の知名度を上げるといったプロジェクトが出たように、自らの情報発信だけでなく、影響力のある方の力を借りるなどの方法も重要となってきます。

3 総括

城陽市では、平成 35 年度の新名神高速道路の全線供用開始やそれに合わせた東部丘陵地の開発、JR 奈良線の高速化・複線化事業などが進んでいます。また、城陽ジャンクション・インターチェンジに隣接する新市街地（サンフォルテ城陽）では、企業が操業を開始し、昼間人口の増加が見込まれています。さらに、東部丘陵地では、アウトレットモールの進出も具体化しており、さらなる交流人口の増加が期待されます。

一方では、城陽市においても人口減少という全国共通の課題があり、その解決に向けて「職」「住」「遊」「学」の魅力を併せ持った、住みたくなるまちづくりが求められています。そのような状況下で、市を代表する施設である「文化パーク城陽」は数多くの方々に親しまれ、利用されてきましたが、開館から 22 年が経過するなかで、少子高齢化・核家族化が進むなど社会情勢が移り変わり、また、開館時と比べニーズも多様化しています。

今後増加が期待される交流人口に対する魅力発信の場としての役割を担うためにも、文化パーク城陽のさらなる活性化が必要となっています。

城陽未来まちづくり会議では、既存の施設の新たな活用方法や施設を生かしたイベントの開催、情報発信力の強化などの意見が多く出され、現在の文化パーク城陽のポテンシャルの高さとそれを生かしきれていないという課題を見つけることができました。

このような状況や意見から、文化パーク城陽の活性化を進めるにあたっては、現在の施設の使い方やあり方だけではなく、文化パーク城陽全体で図書館の本を読めるようにすることや、市民プラザを子どもの遊び場とするなど若者や子育て世代をターゲットにした文化パーク城陽内にある各施設の利用形態・活用方法の改革、といったようにこれまでとは違う施設の使い方も含めて検討することが重要となってきます。

また、イベントの開催を検討する際には、「世界一の〇〇」や城陽の地域資源を生かして「ここでしか体験できない」など文化パーク城陽でしかできない、城陽でしかできないといった点を考えることが重要です。

これらの取り組みによって、より多くの人々が文化パーク城陽を訪れ、利用するようになり、文化パーク城陽が活性化していくと考えられます。以上が今回の城陽未来まちづくり会議の総括となります。

第 7 章

城陽未来まちづくり会議 資料編

1 事前配布資料

1 「文化パルク城陽」のあゆみ

市の文化の中心地、ランドマークである文化パルク城陽。開館に至るまでには長い道のりがありました。それまで、市には大きな文化施設がなく、「城陽に文化の殿堂を」と熱い要望がありました。

こうしたことを背景に、昭和 53 年には多くの方から、市民会館建設のための寄付を受けて「市民会館建設基金」を設け、「市民会館等建設構想検討委員会」や「市民会館等建設懇話会」を設置し、施設建設に向けて、市民の方々と意見を交わし、ホールに加えて、広域的に子ども文化の中心を担う施設として整備を進めることになりました。そして、基金設立から実に 17 年後の平成 7 年、多くの関係者の方のご理解、ご協力のもと、文化パルク城陽が開館しました。

文化パルク城陽は、市立図書館や五里ごり館（歴史民俗資料館）、プラネタリウム、プレイルーム、寺田コミュニティセンター、市民活動支援センター、プラムホールなど、さまざまな施設と機能を持ち、また、周辺には広場や水上ステージがあり、目的に応じた楽しみ方や利用ができます。各施設がそれぞれ趣向を凝らしたイベントや展示を企画するほか、成人式などの市の大きな行事、市民文化祭や JOYO 産業まつりの会場にもなっており、年間約 90 万人という多くの方々に利用されています。



2 「文化パルク城陽」の社会背景の変化

文化パルク城陽は、数多くの方々に親しまれ、利用されてきましたが、開設から 22 年が経過する中で、少子高齢化・核家族化が進むなど、社会情勢が変化し、市民ニーズも多様化してきています。

また、城陽市においては平成 35 年度には新名神高速道路「大津-城陽」間が供用開始され、新名神高速道路が全線開通されることにあわせ、ジャンクション・インターチェンジに直結する新市街地や東部丘陵地を中心に、商業・工業・流通機能をはじめとする多様な都市機能の集積が進みつつあり、市外からの流入人口も増えてくることも予想されることから、「文化パルク城陽」のより一層の活性化を考えていくことが必要となってきています。



3 主な施設の紹介

市立図書館

約20万冊の蔵書があり、市内5カ所のコミュニティセンター図書室とオンラインで結び、どこで借りても返してもよく、貸出・返却・照会・予約などすべてコンピューターで行っています。図書だけでなく、視聴覚資料や雑誌も豊富に揃えています。



五里ごり館（歴史民俗資料館）

常設展示室と特別展示室を設置しており、多くの市民の方々の文化活動の場や教育施設となっています。

常設展示室は、平成19年4月にリニューアルして、古代から近現代までの通史型の展示になりました。また、特別展示室では、特別展、企画展、資料紹介など年に4回開催しています。それぞれ学校・団体観覧も受付しています。



プラネタリウム

定時放映（約1時間）では、前半に放映員がその日の夜に見える星座についてお話しする「今夜の星空」、後半に星や宇宙にかかわりのあるお話をお届けする「プラネタリウム番組」があります。「プラネタリウム番組」は、時期によって内容が変わります。

特別企画では、コンサートや講演会等を行っています。



ふれあいホール

最大400席の利用範囲の広い多機能ホールです。2階の客席は固定席ですが、1階のアリーナはレイアウトも自由で舞台も可変式、座席をすべて取り払うとダンスフロアとしても利用可能です。木質の優しい空間は、舞台と客席をやわらかく包みます。



市民プラザ

エントランスホールに隣接し、イベント会場にもなる円形のオープンスペースです。フリーマーケット、美術工芸作品の展示から音楽の演奏会まで幅広い利用がされています。



各会議室（大会議室、会議室1～4）

大会議室は、講演会、研修会、式典、宴会等様々な用途で使用できる多目的スペースです。また、2分割して使用することが可能です。

会議室1～4は、各種団体の会議や研修、講座、小規模展示会等に利用されています。

プレイルーム

子どもの遊び場として、木のジャングルジムやツイストブリッジといった遊具があり、3歳までの乳幼児専用スペースの「チャイルドアイランド」、屋外で竹馬や「パカパコ」で遊べる「サンクンガーデン」があります。

また、「ふれあい」をテーマに、様々なイベントを行っています。



寺田コミュニティセンター

寺田コミュニティセンターは、文化パルク城陽との複合施設としてオープンしました。地域が主体となった運営により、地域ニーズに応じた事業が展開され、ふれあい・交流の拠点として利用されています。

市民活動支援センター

地域の課題解決に向けて活動されている団体・NPO・市民・企業・行政などが交流・協働するための拠点です。

プラムホール

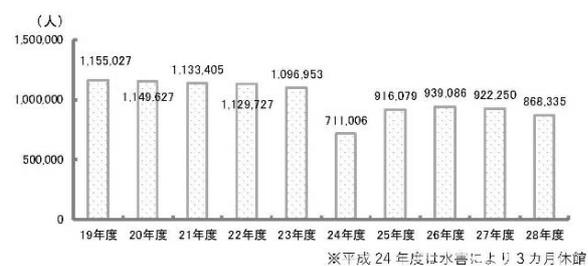
客席数が1,305席あり、音楽や演劇など、さまざまなジャンルの芸術で夢と感動を創造するホールです。プロローグとエンディングを演出するハワイエ、舞台をより近くに感じる3階席を持つ多目的ホールです。大規模なコンサートや演劇、アーティストのライブ等が市内で楽しめます。



4 「文化パルク城陽」の現状

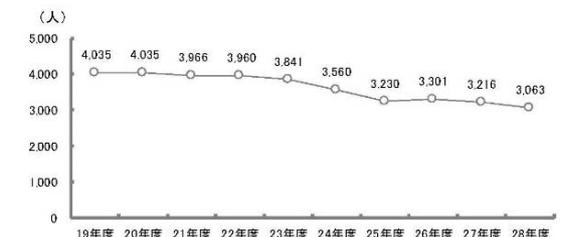
(1) 来館者数の推移

文化パルク城陽の来館者数の推移をみると、平成23年度までは100万人以上の来館者数となっていました。平成24年度以降は100万人を下回っており、平成28年度では、868,335人となっています。



(2) 1日平均来館者数の推移

1日平均来館者数の推移をみると、年々減少傾向にあり、平成21年度以降は4,000人を下回っており、平成28年度では、3,063人となっています。



(3) 各施設の利用者数

各施設の利用者数をみると、平成 28 年度の利用者数合計は 868,335 人となっています。
平成 28 年度において、「貸館等」の利用者数が最も多く、次いで「図書館」、
「プラムホール」となっています。

単位：人

	市立図書館	(歴史民俗資料館) 五里こり館	プラネタリウム	ブレイルーム	寺田コニセン	市民活動支援センター	プラムホール	貸館等	合計
平成19年度	462,677	13,470	17,880	107,540	48,314	1,941	92,498	410,707	1,155,027
平成20年度	464,906	12,490	20,835	106,160	45,784	3,150	102,491	393,811	1,149,627
平成21年度	452,906	12,773	16,914	95,570	46,748	3,797	89,931	414,766	1,133,405
平成22年度	450,834	12,793	19,290	99,835	45,053	3,566	102,518	395,838	1,129,727
平成23年度	418,656	16,172	20,655	100,780	44,804	2,970	107,683	385,233	1,096,953
平成24年度	273,855	7,762	12,541	69,748	30,486	2,281	80,015	234,318	711,006
平成25年度	348,117	11,483	16,821	88,635	39,296	3,277	114,806	293,644	916,079
平成26年度	327,890	9,215	19,288	97,830	39,686	3,455	113,139	328,581	939,066
平成27年度	322,898	10,239	16,936	86,090	39,794	3,422	118,766	324,105	922,250
平成28年度	304,309	8,490	19,605	78,320	36,960	3,877	100,406	316,368	868,335

※平成 24 年度は水害により 3 カ月休館

(4) 文化パルク城陽の支出とその財源

文化パルク城陽の支出とその財源をみると、平成 28 年度では 438,992 千円となっています。

(単位：千円)

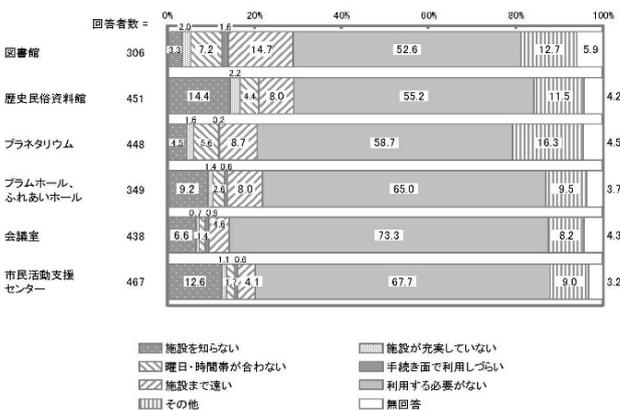
	支出総額				
	文化パルク城陽	図書館	歴史民俗資料館	寺田コミュニティセンター	
平成 28 年度	438,992	269,808	98,362	43,017	27,805

	上記の財源内訳						
	国庫補助金	府補助金	施設使用料等	雑入等	観覧料等	コミュニティセンター使用料等	一般財源
平成 28 年度	2,009	0	75,339	17	699	2,491	358,437

(5) 平成 27 年度城陽市市民意識調査から

市民意識調査は、市民の声を市政に反映させるべく、市民のみなさんに意見・考え方を聴き、その経年変化を把握して、今後の市政運営に資することを目的として 4 年毎に実施している調査です。城陽市に居住する 20 歳以上の方から無作為で 1,000 人を抽出し、実施しています。

市内の各種公共施設を利用しない理由（文化パルク城陽部分のみ抜粋）

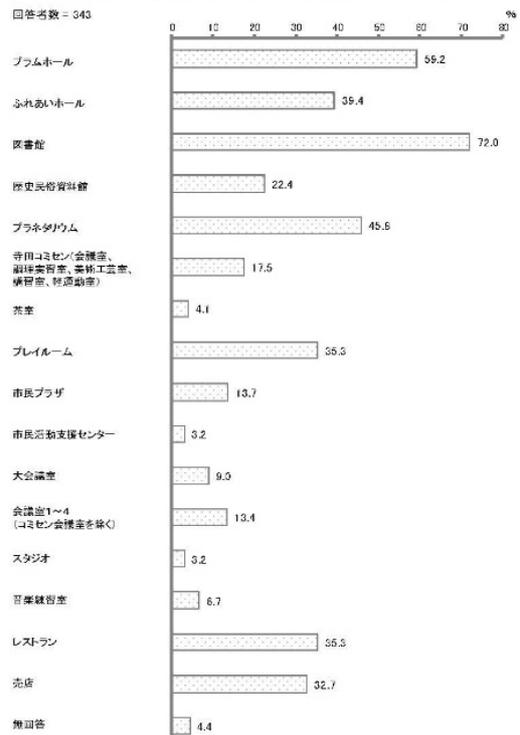


5 「文化パルク城陽」におけるアンケート結果

(平成 30 年度城陽未来まちづくり会議 対象者アンケートより)

城陽未来まちづくり会議の開催にあたり、無作為に抽出しました 1,800 人の市民のみなさんを対象に、アンケートを依頼しましたところ、343 人の方からご返答をいただきました。
以下に掲載しているのは、答えてくださった内容をまとめたものです。

(1) 今までに、文化パルク城陽で使用したことがある施設やスペースは何ですか



(2) 文化パルク城陽をより活性化していくために、何を行っていくべきだとお考えですか——

【主な意見】

- 市外からも参加できるイベントや城陽市の名前が全国に広がるようなフェスティバル等を開催する（映画祭、アート展 etc）
- 色々な企業とのコラボレーション等をして、地域住民が参加しやすいイベント活動を行う
- 市民参加型のイベント（手づくり市、地産地消の類、産直販売）を行う
- 小規模の映画館をつくる。普通の映画館では上映がむずかしい映画を計画的に上映していく
- 郷土の祭りを開催する。市内各地域の神輿を一同集めて合同祭を行う
- スポーツ施設を敷設する
- マンガ図書室をつくる
- ボール遊びができるスペース、中高大生が遊べるスペース（ミニバスやフットサル等）
- 宿泊施設的な使い方や農業体験ができるイベントを開催する（周りの土地を使って体験コーナーの実施）
- 城陽の特産「梅」を使ったイベントを開催する
- ふれあいホール等を利用した城陽市特産物（野菜、花）を経営者が直売できるマルシェの開催
- 「プラネタリアム駅」という名前で道の駅っぽいことをする
- SNSを通じ、常に市民とコンタクトがとれる関係性を構築する
- 文化パルクのアプリを開発する。自分が欲しいジャンルのイベントのみの情報を通知することができ、大きな宣伝効果があると思う。まずは知ってもらうことが活性化の鍵となるのではないか
- 城陽の全世帯に文化パルクがこういう風に見えるという細かい所まで書いてあるパンフレットを作成し配布する
- 文化パルクの中にショップを入れる（お土産など）
- 売店を地下の市民プラザに移動し今の売店をおしゃれな軽食もいける喫茶店にしようか
- 文化パルク城陽への道をもう少し行きやすいように整備する
- 使用料を安くして常に誰でも使用できるようにする
- 気軽に昼食を食べたり少しコーヒーを飲んで休憩したり子どもと一緒に休憩できるスペースをつくる
- 自主業者によるプラムホールの一層の利用促進を図る

- 市民プラザが空いているので、イオンなどにあるような、マットと遊具がある小さい子どもが楽しめる場所をつくる
- カフェでお茶しながら立ち読みができる場所が増えているので、スタバなどのカフェをつくって、文化パルクのどこでも、お茶が出来て図書館の本を読めるようにしては、椅子も増やす

2 会議のタイムテーブル

10:00~10:15	開会あいさつ
10:15~10:35	グループ内自己紹介
10:35~10:50	文化パーク城陽についての説明 スケジュールの確認及びワークショップの進め方について
10:50~11:20	各グループによる文化パーク城陽館内見学
11:20~12:00	文化パーク城陽活性化に向けてのアイデア出し
12:00~13:00	昼食 文化パーク城陽活性化に向けてのアイデアの共有認識 (アイデアの観覧)
13:00~15:00	<ul style="list-style-type: none">・具体的プロジェクトのコンセプトの検討・『こんな「文パル」がいいプロジェクト』(企画書)の作成・まとめ
各グループで随時休憩	
15:00~15:25	企画書観覧・投票
15:25~15:40	3企画書の発表(各グループ5分)
15:40~16:00	<ul style="list-style-type: none">・総括・アンケート記入・閉会のあいさつ(市からの事務連絡)・記念撮影

3 班ごとのグループワークの様子

1 班



2 班



3班



4 班



5 班



6班



7 班



4 事前アンケート結果

(1) 調査の目的

「城陽未来まちづくり会議（55人委員会）」は、1つのテーマについて交流と対話を行い、その意見を市民の声として行政への提案につなげ、また交流の場を通じて地域社会のつながり（コミュニティ）を高めることを目的に開催しました。

このアンケート調査は、城陽未来まちづくり会議を実りあるものとしていくため、無作為に抽出した市民 1,800 人を対象に、会議への参加依頼とともにアンケート用紙（下）を郵送し、調査を実施しました。

(2) 調査の概要

- ①調査地域：城陽市全域
- ②調査対象：城陽市在住の満 18 歳以上の男女個人から無作為で 1,800 人を抽出
(平成 30 年 7 月 1 日現在)
- ③調査方法：郵送法（郵送配布—郵送回収）
- ④調査時期：平成 30 年 7 月
- ⑤回収数：343 件（回収率 19.1%）
※集計結果はすべて、小数点第 2 位を四捨五入してり、比率の合計が 100.0%にならないことがあります。

平成 30 年度 城陽未来まちづくり会議 対象者アンケート

このアンケートは、城陽未来まちづくり会議の開催にあたり、無作為に抽出いたしました。1,800人の市民の皆さまを対象として、参加のご依頼とともにお送りしているものです。「城陽未来まちづくり会議（55人委員会）」を、市民の皆さまとともにより実りあるものとしていくため、進捗をご理解いただき、ご回答いただきますようお願い申し上げます。

平成 30 年（2018 年）7 月 城 陽 市

ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、原則として封筒の宛名ご本人にお願いします。
- ご記入は、鉛筆または黒のボールペンでお願います。
- ご回答は、質問①から順番にお答えください。
- ご回答は、疑問ごとにはまる番号に○印をつけてください。
なお、「その他」にあてはまる場合は、その内容を（ ）内に具体的に記入ください。
- ご記入が終わりましたら、返送用封筒に「参加承諾書」ともに入れて、
郵送にて**7月27日（金）**までにご返送ください。（切手は不要です）
- ご記入にあたり、質問などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
 城陽市 企画管理部 秘書広報課 担当：原、竹原
 電話（0774）56-4051 FAX（0774）55-7774

質問 1 全員にお伺いします。あなた自身のことについてお答えください。
 (1) 性別を選んでください。
 ①男性 ②女性

(2) 年齢層を選んでください。
 ①10～20歳代 ②30歳代 ③40歳代 ④50歳代
 ⑤60歳代 ⑥70歳代 ⑦80歳代以上

質問 2 全員にお伺いします。城陽未来まちづくり会議（55人委員会）の参加案内を最初に
 ご覧になったとき、どのようにお感じになりましたか。最も当てはまるもの1つを選んで
 ください。
 ①面白そうだった ②興味なかった ③内容が分かりづらかった
 ④その他（ ）

質問 3 全員にお伺いします。今回のように無作為抽出の市民の皆さまに案内状をお送りし、
 参加者を募る方法について、どのようにお考えですか。最も当てはまるもの1つを選んで
 ください。
 ①多くの市民が参加の機会を得られて、よいことだと思う
 ②関心のない市民にも案内が届くので効果的でないと思う
 ③その他（ ）

【裏面へ】

質問 4 全員にお伺いします。あなたは城陽未来まちづくり会議への参加を承諾されましたか。
 ①承諾した ②承諾しなかった

質問 5 質問 4 で「②承諾しなかった」とご回答された方にお伺いします。参加を承諾されな
 かった理由は何ですか。（複数回答可）
 ①参加したかったが今回は都合が合わない ②拘束時間が長すぎる
 ③テーマがわかりづらかった ④会場そのものに関心がなかった
 ⑤土曜日は参加できない ⑥謝礼が少ない ⑦心身の不調のため
 ⑧その他（ ）

質問 6 全員にお伺いします。今後、城陽未来まちづくり会議で使って欲しいテーマにありま
 すか。（複数回答可）
 ①教育 ②子育て ③環境 ④農業 ⑤商工 ⑥観光 ⑦道路・交通 ⑧都市計画
 ⑨市民活動 ⑩高齢者・障がい者福祉 ⑪防犯・防災 ⑫医療
 ⑬自然・歴史・文化財 ⑭その他（ ）

質問 7 全員にお伺いします。今までに、文化パルク城陽で使ったことがある施設やスパー
 スは何ですか。（複数回答可）
 ①プラムホール ②ふれあいホール ③図書館 ④歴史民俗資料館
 ⑤フナタリウム ⑥寺田コメン（会議室、異物集習室、美術工芸室、講習室、会議室）
 ⑦茶室 ⑧プレイルーム ⑨市民プラザ ⑩市民活動支援センター
 ⑪大会議室 ⑫会議室1～4（コメン会議室を除く）⑬スタジオ
 ⑭音楽練習室 ⑮レストラン ⑯売店

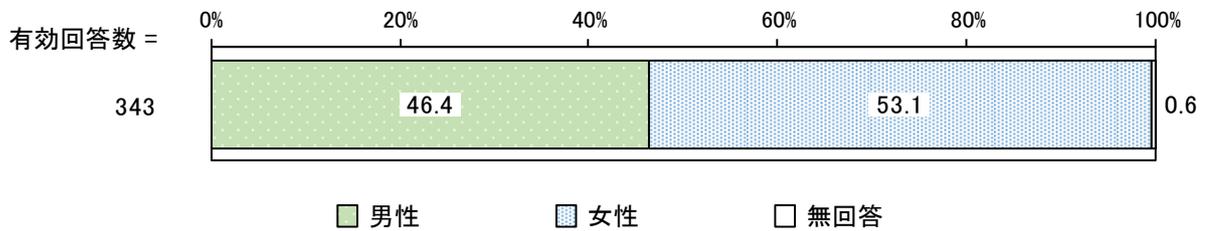
質問 8 文化パルク城陽をより活性化していくために、何を行っていくべきだとお考えですか。
 ご自由にご記入ください。

質問 9 その他意見等ございましたら、ご自由にご記入ください。

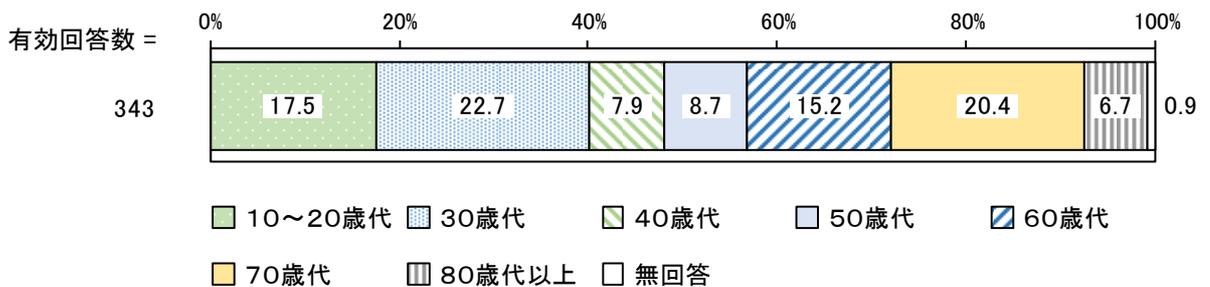
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
 同封の返送用封筒に「参加承諾書」ともに入れて、7月27日（金）までにご返送ください。

質問1 全員にお伺いします。あなた自身のことについてお答えください。

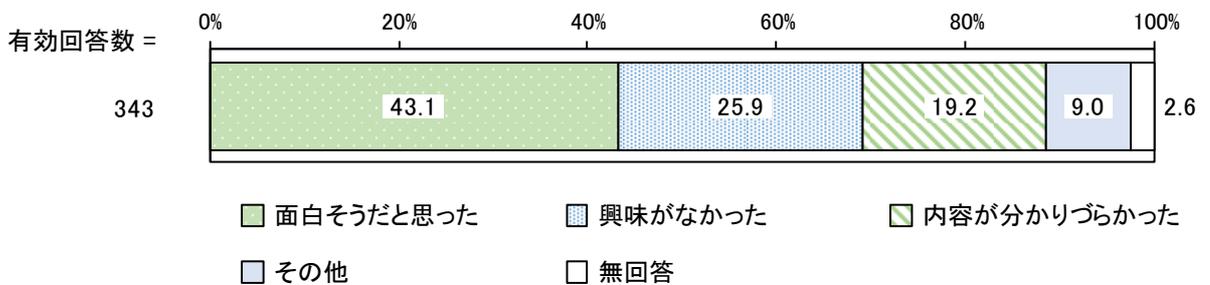
(1) 性別を選んでください。



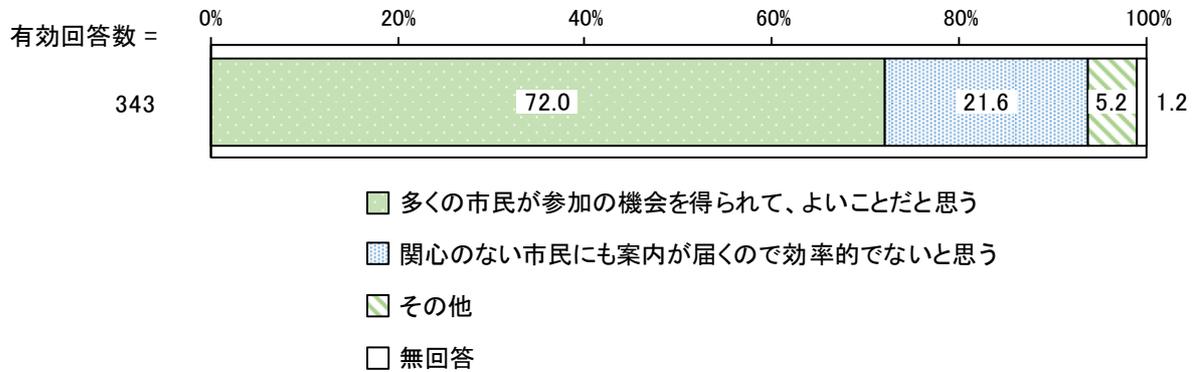
(2) 年齢層を選んでください。



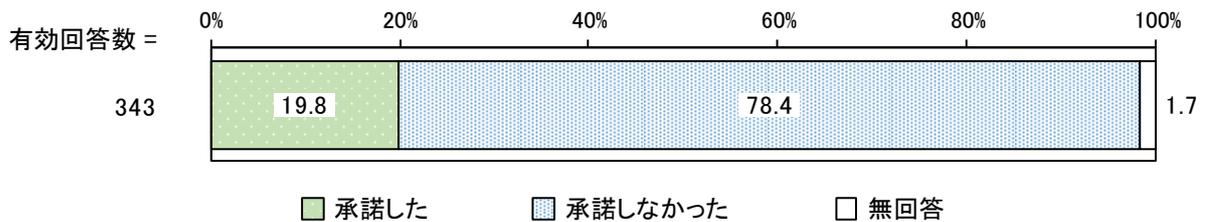
質問2 全員にお伺いします。城陽未来まちづくり会議（55人委員会）の参加案内を最初にご覧になったとき、どのようにお感じになりましたか。最も当てはまるもの1つを選んでください。



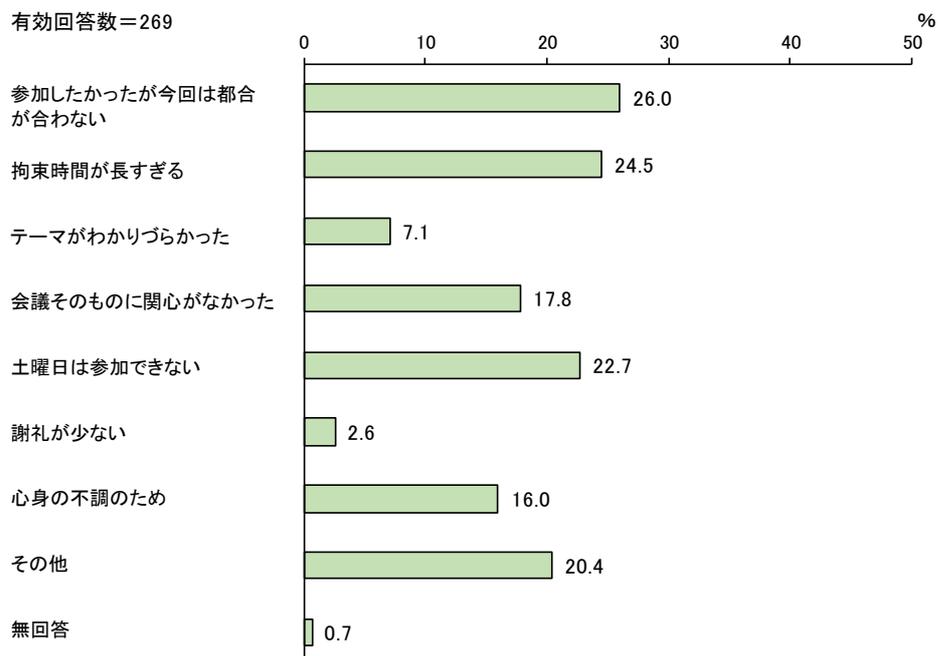
質問3 全員にお伺いします。今回のように無作為抽出の市民の皆さまに案内状をお送りし、参加者を募る方法について、どのようにお考えですか。最も当てはまるもの1つを選んでください。



質問4 全員にお伺いします。あなたは城陽未来まちづくり会議への参加を承諾されましたか。

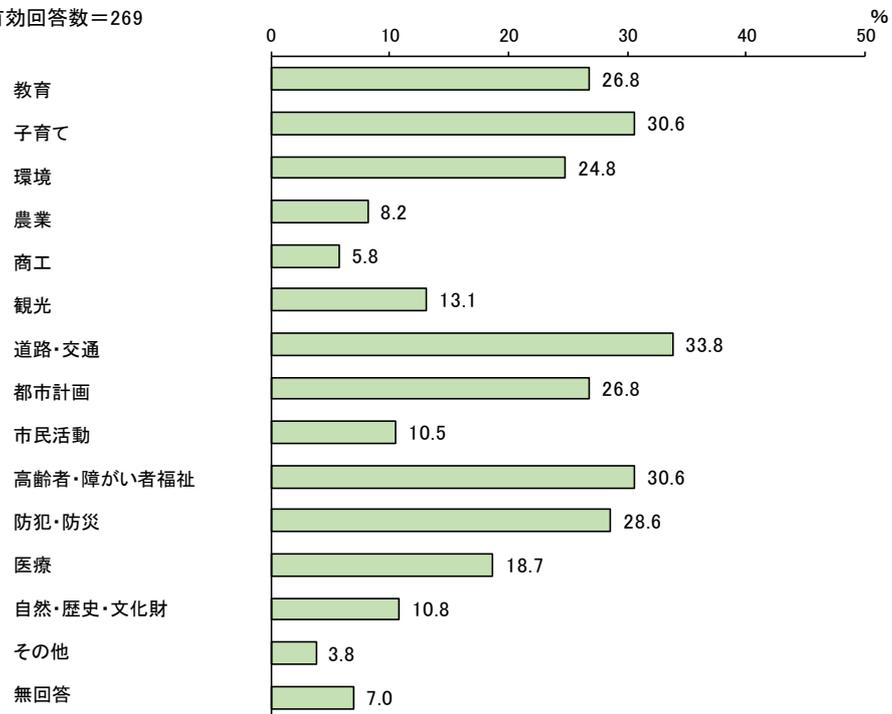


質問5 質問4で「②承諾しなかった」とご回答された方にお伺いします。参加を承諾されなかった理由は何ですか。(複数回答可)



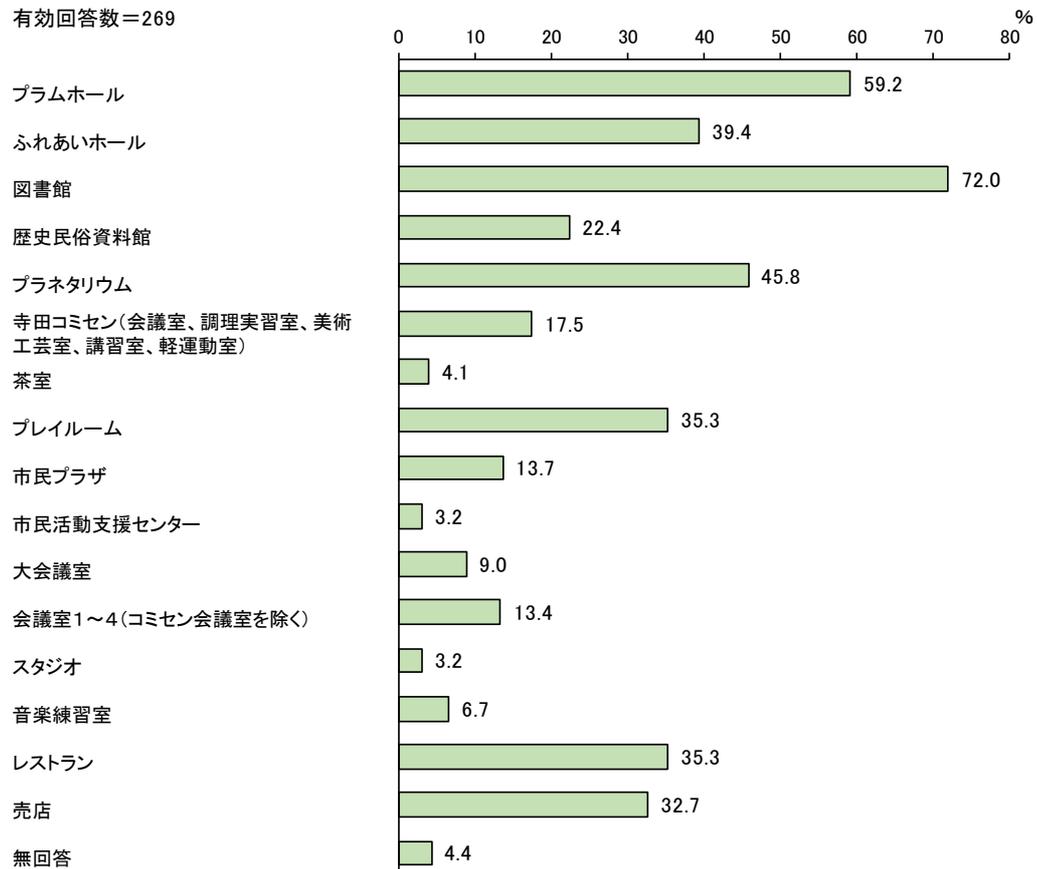
質問6 全員にお伺いします。今後、城陽未来まちづくり会議で扱って欲しいテーマはありますか。(複数回答可)

有効回答数=269



質問7 全員にお伺いします。今までに、文化パルク城陽で使用したことがある施設やスペースは何ですか。(複数回答可)

有効回答数=269



質問8 文化パーク城陽をより活性化していくために、何を行っていくべきだとお考えですか。ご自由にご記入ください。

- ・市外からも参加できるイベントや城陽市の名前が全国に広がるようなフェスティバル等を開催する（映画祭、アート展 etc）
- ・色々な企業とのコラボレーション等をして、地域住民が参加しやすいイベント活動を行う
- ・市民参加型のイベント（手づくり市、地産地消の類、産直販売）を行う
- ・小規模の映画館をつくる。普通の映画館では上映がむずかしい映画を計画的に上映していく
- ・郷土の祭りを開催する。市内各地域の神輿を一同集めて合同祭を行う
- ・スポーツ施設を敷設する
- ・マンガ図書室をつくる
- ・ボール遊びができるスペース、中高大生が遊べるスペース（ミニバスやフットサル等）
- ・宿泊施設的な使い方や農業体験ができるイベントを開催する（周りの土地を使って体験コーナーの実施）
- ・城陽の特産「梅」を使ったイベントを開催する
- ・ふれあいホール等を利用した城陽市特産物（野菜、花）を経営者が直売できるマルシェの開催
- ・「プラネタリウム駅」という名前で道の駅っぽいことをする
- ・SNSを通じ、常に市民とコンタクトがとれる関係性を構築する
- ・文化パークのアプリを開発する。自分が欲しいジャンルのイベントのみの情報を通知することができ、大きな宣伝効果があると思う。先ずは知ってもらうことが活性化の鍵となるのではないか
- ・城陽の全世帯に文化パークがこういう風に使えるという細かい所まで書いてあるパンフレットを作成し配布する
- ・文化パークの中にショップを入れる（お土産など）
- ・売店を地下の市民プラザに移動し今の売店をおしゃれな軽食もいける喫茶店にしてはどうか
- ・文化パーク城陽への道をもう少し行きやすいように整備する
- ・使用料を安くして常に誰でも使用できるようにする
- ・気軽に昼食を食べたり少しコーヒーを飲んで休憩したり子どもと一緒に休憩できるスペースをつくる
- ・自主業者によるプラムホールの一層の利用促進を図る
- ・市民プラザが空いているので、イオンなどにあるような、マットと遊具がある小さい子どもが楽しめる場所をつくる
- ・カフェでお茶しながら立ち読みができる場所が増えているので、スタバなどのカフェをつくって、文化パークのどこでも、お茶が出来て図書館の本を読めるようにしては。椅子も増やす

5 城陽未来まちづくり会議参加者のアンケート結果

(1) 城陽未来まちづくり会議に参加してみた

	よかった	よくなかった	どちらでもない	無回答
件数	44件	0件	1件	1件
割合	95.7%	0.0%	2.2%	2.2%

(2) 今後の『文化パーク城陽』について思ったこと、感じたこと

- 多くの方が文化パーク城陽のことを大切に思い、活性化しようと考えていらっしゃる事が分かりました。そして同時に、施設の開放や市外者、若い人の来館者を増やす工夫の導入など、文化パークに対して抱いている要望が共通していると知りました。様々な意見が出たので、是非反映して頂けると幸いです。
- 皆おなじことを思っているのだと感じました。
- 小、中学生の頃は、本を借りによく図書館へ来たり、幼い頃はプレイルームで遊んだりしていましたが、大学生以降はあまり足を運ぶことはありませんでした。久しぶりに訪れた今日感じたことは、皆さんの話にも出ていたように暗いなーという印象を持ちました。どの年齢層のニーズにも応えられるような活気のある文化パークがあれば良いな、と感じました。
- 「文化パーク城陽」あらためて必要性を感じました。楽しいイベントが出来る事が、55人寄れば素敵な会館になるアイデアを集められる。ますます広がりを持てる事と思います。今後の「文パル」に役立つことでしょう。
- 文パルについてたくさん考える機会ができて良かったです。和やかなムードで楽しかったです。
- 城陽の未来が明るいと感じた。
- 自分が思っている以上の考えが多く出たことにはおどろきました。多くの人との交流ができたということが良かったです。
- 色々な考えをもっている人が多く、「城陽ブンパルとどうしたらいいのか?」を真剣に、楽しく取り組みが出来た事が非常に良かった。愛する城陽市民が多い事がわかった事。
- 立派な文化パークがありながら施設の内容を知らない事が多くあり、市民に行き届いていないと感じた。年齢層によりまちづくりの方法、考え方が違うのを痛切に感じた。(年齢層別のまちづくり会議も良いと思う)
- 参加者の皆様が真剣に城陽のコト・文パルのコトを考えていらっしゃって素晴らしいと思いました。
- 文化パークに来場するための交通機関をインターチェンジに直結する道路整備
- どのグループもだいたい同じような意見が出てきていたということは、市民のたくさんの方が考えているということだと思います。金銭面など課題はあるかと思いますが、やはり人が来ないと活性化にはつながらないと思うので、よりよくなっていけばいいなあと思います。普段関わることのない人達との交流が何より楽しかったです。
- 場所があり、設備があるので、まだまだ可能性のある施設だと思いました。もちろん、いろんな人がいて、いろんなことを考えているので、どんな人も利用しやすい施設にするのは難しいと思いますが、市と市民が対話を重ねればもっと良くなっていくと感じました。
- 様々な年代の人が考える「文パル」は違っていて、自分が思いつかないようなアイデアが沢山あり、おもしろかったです。小さい頃何度も利用していた文パルですが、また利用できる楽しい施設に生まれかわってほしいです。

- 思ったより、文パルについて色々と思いのある人がいるんだなと思った。全て実行(実現)できなくてもいいけど、少しでも文パルの存在価値が高まればいいと思う。
- 文化パーク城陽に来てみて、新しい発見ができた。若者の発想から年配の方の考え方まで幅広い意見が聞けて、為になりました。色々な世代の人が一緒に場で話し合いができて楽しかったです。
- 空いてるスペースも多いので、まだまだ伸びしろのある、使い方次第で楽しい場所となる施設だと感じた。
- グループ討議で参加者とわきあいあいに話が出来、文化パーク城陽への思いが強い事が知りました。参加出来良かったです。
- 文化パークを末長く存続させてもらいたい。
- 毎週文化パークを使用していますが、若い人の利用が大変少ないと感じた。もっと若い人が利用したいと思う様な情報発信が必要。
- 初対面の方とお会いし、文化パークについて話をしましたが、意外と皆様良くしたいという思いを持っている方が多く感じました。自分も城陽市民ですのでこういう機会を期に日々自分なりに考えていきたいと思いました。
- 色々な意見が出てとても楽しかったです。
- 若い人の意見が現在 SNS が多く、今の若者の人々の意見がよかった。
- 文化パークの利用がだれでも自由に多く参加出来るように！！
- もっと文化パークを使われていくようにした方が良い。市外の人でも来てもらえるようにする。アクセスを良くする。
- 文化パークが作られてから、あまり改良されず、現在まで、続けているのを知り、来館客数が下がっているのは、当然の結果だと思った。
- いろいろな面で行きづまったり、じり貧の状況がありこの機会に良い方向へむかうことを願っています。
- みなさん利用したことのない人が多いとわかりました。しかし、どうしたら良かたくさん意見をおもちだということもわかりました。城陽を愛している人が多いんだなあと感じました。
- グループで色々な方とアイデアを出し合い、企画を考えたのが楽しかった！
- 文パルの建物もシステムも老朽化したなと実感しております。もう一度再生化して、この施設を生かして頂きたいと思います。
- 市民がみんなで運営すべき。
- すぐ出来ること、すぐには出来ないことたくさんありますが、もっと、文パルに来たら楽しくなるようなイベント等が増えてほしいと思いました。
- 軽食があるカフェを運営する企業に飲食店を展開してもらいたい(切実です)。床を全面に改装して、その際文パル内の各施設の誘導線を描く。らせん階段に掲示スペースがあるので、子供向けに間違い探しイベントを開催、定期的に変更する。又は城陽の企業様の紹介に活用する。今人気のあるアーティストはほかの施設でも見ることができます。文パルでは昔人気のあった人、一部のコアなファン層(1,000人くらいの人)に注目されている人に来てもらう。学生や社会人のために自習室を常設してほしい。子供を持つ親に安心の「清潔を重視した施設」を常設する。休館日を作らない。
- ソフト面ではアイデア次第で様々なことが実施できる施設だと思う。まだまだ活用の余地はあると思います。ハード面では管理が行き届いていない箇所が目につく。(カーペットのしみ、壁のしみ、汚れなど)。人を集めるのであれば、見て不快な状況は改善すべきかと思う。文パルの運営が現状どうなっているのかがわからなかった。(市が活用について意見する余地があるのか等)
- 文パルの知らないことを多く知れるキッカケになった。子育て世代、シルバーにとってよりよい文パルになればいいと思う。

- もっとよく文パルの事を知りたいと思いました。
- 楽しい所になったらみんな来てくれると思った。「田舎は何もない」って思われなような所になってほしい。
- 改めて文化パークについて考えたことで、魅力を再発見することができました。今回の55人委員会によって、より一層文化パークが楽しい場所になるのではと期待しています。
- 今日の会議で出た様々な案がなにか一つでも採用され実現できたらいいなと思う。
- 若い人の意見も高齢者の意見もそうかわらなかった。今の文パルをいかに知らなかった事が多い事が…もっと周知徹底をしなければ…。
- 施設の整備、収入促進が今後の大きな問題である。
- 今後の文化パークが、どのような形、未来が待っているのか?大変楽しみです。
- 「こんな施設あったんだ」というのが多かったです。お金をかける前に出来る事がまだあるのかな?と思いました。

(3) 城陽未来まちづくり会議の運営について

- 広い年齢層の方々と、様々な意見を交換できる機会だったと思います。ここで提案された意見が、実際にどのような形で実現していくのか、プロジェクトの過程を公開して頂ければ、私たちもよりやりがいを感じ、会議への参加者が増えるのではないのでしょうか。このような機会を頂き、ありがとうございました！
- 漠然と言うのではなく、実現できることからということは私の頭にはなかったのですが、本当に今回実現できるような意見もあったと思いましたので、そういうことから一つずつ活性化につながればと思いました。
- 今回のように城陽市民の方々と集まってお話することはなかなかない機会ですので、楽しく参加させていただくことができました。1人で考えると、なかなか案がふくらまないのですが、色々な方とお話することで、アイデアは無限に広がるものだなと思いました。より城陽がよい市になりますように願っております。
- 楽しい会議でした。若い方が多く、とても参考になる意見をお聞きして、良かったです。
- 定期的にこのような場を設けるのは良い事だと思いました。
- 運営の大変さを感じた。
- 費用のかからぬ最善のことができればいいでしょうが、できることから一つずつ…と思います。
- 全体をわかりやすく説明していただいた事。一人一人の意見に対し親身になって対応していただきました。
- 幅広く意見を聞くことが出来、楽しい一日でした。良い機会に参加出来たこと、自身の参考にもなりました。
- どんどん意見が出てくるグループでしたので、勝手に進んでいったような印象です。楽しく喋ることができました。託児所、お世話になりました。ありがとうございました。
- 試みが非常に良いと思いました。楽しい議論が出来、良かったです。他のテーマでも、もし開催があるなら是非参加したいと思いました。
- 性別・年齢・生まれ・生活環境等異なる人と交流し意見をかわすことができおもしろかったです。
- 会議のコンセプトがいまいちつかめなかった。(具体的なイベント等を提案する場だったように感じる)
- 進め方はよかったですとおもいます。もっと現実的な意見が出ればよかったですと思いますが短い時間だったので、残念でした。
- 固くなりがちだった我々に対して明るくとり仕切ってくださいました。
- 自由に型にこだわらず思いを話しが出来た事がよかったです。

- 市民参加は大変よいことと思います。
- 司会を担当したコンサルが上手にリードし、思ったよりスムーズな運営がなされた。
- 様々な意見出ているので、ぜひ実現させて下さい。
- 現実ありえない案も多かった。企業の参加がほしい。
- 市の職員がもっと文パルの経営にかかわり運営が向上するようにしてほしい。
- 出た意見は市のスタッフの人に見てもらって参考にしてほしい。
- 文パルの件だけではなく、城陽に関わるいろいろなことで市民の意見を聞いてもらえる機会を増やしていただきたいと思います。
- 実際に良い意見が採用されたらそのプロジェクトに参加できたらいいなと思いました。楽しかったので、もっと定期的に関いてもいいなと思いました。
- 各グループからの企画が色々出され、有意義な会議となりましたが、市民が文パルに来るには、アクセスが大きな課題となります。この点も今後、考えていってもらいたいです！
- 楽しくアイデアの出せる企画に good。
- 運営を専門の業者さんに委託されたのはよかったと思います。これに限らず民の力を使える所は使ったらいいと思います。
- 主催者が市役所の方がやった方がいいと思う。司会進行を別会社の人に任せるのは費用が無駄であり、市と文パルの職員がもっと主体性を持って私達市民の声も大事だけど行動してほしい。
- 文パル以外もやればよいかも。
- 今後も定期的を開催したら良いと思います。
- 色々な考えを聞いてよかった。
- 全体の流れが少しわかりづらかったのでもう少し資料に情報があればよかった。文パルの運営の方の話が聞ければよかった。
- 市について話し合える機会なんて中々ないから新鮮だった。もっと若い人に来てほしい。
- 少人数のグループだったので、気軽に自分の意見を出すことができました。グループに一人運営の方がいて下さったので、段取りがわかりやすかったです。
- ファシリテーターが話しを回しているのがよかった。
- 若い人の意見を取り入れ新しい時代に合った運営を望みたい。この会議でのアイデア御検討下さい。大変いいミーティングでした。
- 1市民から意見、考え方がよかったと思います。運営についても今まで考えていなかったことが多く出てきてよかったと思います。
- 市民の声を聞くのは良い事だと思うので続けたらいいと思います。

城陽未来まちづくり会議（55人委員会）報告書
平成31年（2019年）1月

【編集・発行】

城陽市 企画管理部 秘書広報課

〒610-0195 京都府城陽市寺田東ノ口16番地、17番地

TEL 0774-52-1111（代表）

FAX 0774-56-3999